

アイティ豊岡都市開発 株式会社

決算書類

第 25 期

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

1. 事業の概要

今期の最大の出来事としてはロシアのウクライナ侵攻がトップニュースといえます。軍事侵攻も大きな出来事ですが、それに付随する経済・燃料問題など世界規模での影響は計り知れず、西側諸国からロシアに対する経済制裁措置は日本も同様に行っており、円安の進行等予断を許さない状況が続いています。

もう一年前のこととなりますが、新豊岡市長関貫久仁郎氏が5月1日就任され中貝氏から市政を引き継がれました。コロナ禍で多くに事業が様変わりを求められている中、新たな舵切りを求められ船出をされたところですが、8月1日には斎藤元彦氏が兵庫県知事に就任され、兵庫県政を五期二十年の井戸前知事から引き継がれました。さらに、国では首相が変わり、10月4日に岸田政権が発足し新内閣が動き出しました。多くの課題が山積するなか、最大の課題はコロナの鎮静化でしたが、2年目に入った昨年においてワクチンが開発段階から一歩進んで、接種が始まったことにより大きな進展を見せました。しかし、新株が出現することで緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発出と解除が目まぐるしく、多くの場面で混乱を生じてはいたものの新規感染者の増減は、宣言や措置の発出解除により陽性者が増えるいたちごっこが第6波となり、物議を醸す状況もありました。若年層のワクチンについて見解も分かれてきましたが、園、学校でのクラスター感染などから若年層へのワクチン接種も進められるようになりました。まん延防止等重点措置は3月21日で解除されましたが、警戒自粛体制は個人裁量とというものの継続しているところです。

2020年開催予定であったオリンピックは7月から開催され、コロナ禍の間隙を突いた状況でパラリンピックも大過なく開催されました。海外のことではありますが、冬季オリンピックも開催されオリンピックイヤーが終わり、次の会場へと引き渡されました。

25期はアイティにおいても大きな変化が起きた期となりました。4階のフロア所有権移転の完了に伴い、6月に「生涯学習サロン」がオープンし、高齢者生きがい創造学院の13の講座が始まりました。11月からは4階の拠点で、豊岡市の子育ての中核を担う子育て支援総合拠点等施設の工事が始まりました。

4階フロアは、豊岡市の所有によりこれまでの商業スペースから行政事業スペースに転換され、子育て支援を中心とした事業展開をベースに、子どもの遊び場としてこども広場、子育て応援の子育て総合センター、子育てなんでも相談室、子育て支援のファミリーサポートセンター、女性応援のみらい応援Room、市民の交流を促進する市民交流広場と学習室が整備されました。

3月27日に竣工式が催され、名称はワックトヨオカと名付けられました。こども広場と市民交流広場が同日にオープンし、4月1日から豊岡市施設が事業を開始しています。

このワックトヨオカの市民交流広場、こども広場の指定管理を当社アイティ豊岡都市開発㈱が受けることになりました。今期の指定管理は1週間ほどですが、準備期間の20日間は業務委託を受け開設に備えました。

そのような状況下が変わっての当社の業務状況ですが、基幹業務の駐車場事業に指定管理事業としてワックトヨオカの管理運営が加わり、本務に指定管理業務2件、委託事業4件の事業運営となっています。

2年目に入ったコロナウイルス禍は衰えることなく新株の発生などにより緊急事態宣言、まん延防止等重点措置を発出し、行動制限や店舗の営業自粛など人流などを抑え込むことから、アイティへの来館者の減少や駐車場では移動制限による豊岡駅利用の減少からくる駅前駐車場の一般利用の減少など営業に大きく影を射すことが再三に渡って出現し、売上利用とも大きく減少しています。

アイティ立体駐車場は、4階のフロア売買に伴い駐車場負担金全体を見直したことにより、昨年度対比では減少する形になりました。今期においては、コロナ禍による外出への自粛要請や高齢者の外出に対する嫌気感

など気分的な行動自粛に拍車をかけるように4階工事の閉塞感、館内店舗・施設の時短営業や休業という事情から来館へのアプローチを遮るような事項もあまた発生したことにより館内滞留時間が少なくなり、駐車料金売上はこれまでにない減収状況となりました。

駐車場利用促進は定期駐車増と一般利用増も視野に入れ宣伝広告やサービス向上を継続して行いました。アイティ駐車場の今期利用車両は575,011台(1日平均1,584台)の利用で、年間で56,265台、1日平均では155台の減少、前期対比では8.9%減となりました。

利用台数の減少はコロナ禍と4階が工事により閉鎖状態が続いたことが要因として考えられます。

売上については4階フロアの売買時に提案された駐車場負担金の全面改定を行ったことにより昨対で減額となっています。加えて、コロナ禍も収束することなく県下全体にまん延防止重点措置が継続されたことなどにより売上金額は1億1,412万円(前年1億4,625万円)となりました。

この駐車場負担金の改定は前期に引き続いて前期は核店舗だけであったものが今期は全体の見直しで収益の減収となりました。また、4階の所有権移転は商業ゾーンが行政ゾーンに変わる事業転換を踏まえた改装工事のため商業ゾーンが6月閉鎖となった後オープンが3月と9カ月に及ぶ閉鎖とコロナ禍とも相まった人流減少により厳しい状態が続いたこともありましたが、完成後は4階に灯りが戻ったことで雰囲気も明るくなり、子育て支援総合拠点施設の名のおり幼児の声や子供たちの出入りが増え、雰囲気も変わってきました。4月からは市の行政施設も開始になることで機能性も高まり、賑わいにつながっていくものと考えているところです。

駅前駐車場は指定管理事業者5期目となり初回の指定管理最終年度でした。一般・定期利用の売上は720万円(前期988万円)となり前期対比は268万円減少し、利用台数では51,621台(前期54,115台)で前期比4.6%減と減少傾向は止まらない状況にある中、前年を上回る月もあり傾向は不明ですが、出張、旅行等JR利用者が減少している厳しい状況が続いています。

これら駐車場については周辺の駐車場も同様ですが、今後の動向としてJRの乗降客や周辺宿泊施設の動きなど全体を見た改善策を探る取組を進めたいと考えます。今期は駐車場に加えて3月期に4階ワックトヨオカの管理委託料とこども広場指定管理料が増えています。来期からは指定管理料としての収益となりますが、事業の関係から社員も増員しているため、経費についても支出が増える状況です。

これらを含めた総売上額は1億5,478万円を計上し、経常利益は1,174万円、税引き後当期純利益は826万円と(前年度対比27.7%)と利益剰余金3,404万円になりました。来期はリニューアルになったことで、子育て応援による子育て世代の方や生きがい創造関係からの高齢者の方など来館者増に期待しているところです。

最後になりますが、会社の再建については、関係各位の多大なるご協力をいただくことにより着実に歩を進めてまいり、繰越利益剰余金のマイナスは昨期で解消され3,404万円の利益剰余金に転じています。新型コロナウイルスの感染拡大による影響は多大なものがあり、社会生活はそれらに左右される脆弱さを持ちつつも社会変革を実施しようとしている状況です。世界情勢においてもどのような波が起きるのか不透明さが増している状況にあり、経済情勢も予断を許す状況にないところです。

25年を迎えた当社にとっても大きな課題となっていますが、核店舗、専門店、行政機関、各金融機関の皆さまのご努力・ご協力・ご支援を賜わり、さらなる努力を重ねこれまで以上に健全経営に取り組んでいかねばなりません。行政当局をはじめ、関係各機関並びに株主各位の皆様のご指導とご鞭撻を切にお願いいたします。まして第25期の事業報告といたします。

2. 会社の現況

(1) 資本金の推移

	当 期 末	前 期 末
資 本 金	1億81百万円	1億81百万円

(2) 株式の状況

発行可能株式総数	13,000株
発行済株式の総数	3,620株

(3) 株 主 数 32名 (令和4年3月31日現在)

(5) 取締役及び監査役の氏名・会社における地位、又は職業

(令和4年3月31日現在)

氏名	職名	主な職業
井上 隆俊	代表取締役	
土生 田 哉	取締役	豊岡市 副市長
岡部 一志	取締役	㈱さとう 取締役経理本部長
澤田 秀夫	取締役	豊岡市 都市整備部長
和田 芳明	取締役	アイティ管理組合法人 副理事長
藤原 紘道	監査役	㈱藤 代表取締役

*令和3年7月21日付で取締役 前野文孝が辞任し、令和3年8月16日付で取締役 土生田哉が就任しております。また、令和4年2月28日付で監査役 橋本勝洋が辞任し、同日付で監査役 藤原紘道が就任しております。

(6) 従業員の状況

(令和4年3月31日現在)

区分	期別	当期末	前期末
従業員数		15	4
男子	正社員	3	2
	臨時社員	2	1
女子	正社員	—	—
	臨時社員	2	1
	アルバイト	8	—
平均年齢		38.5 歳	40.5 歳
男子	正社員	40.3	44.0
	臨時社員	30.5	35.0
女子	正社員	—	—
	臨時社員	36.0	39.0
	アルバイト	40.6	—
平均給与月額		130 千円	285 千円
男子	正社員	339	378
	臨時社員	185	183
女子	正社員	—	—
	臨時社員	184	203
	アルバイト	21	—

注1. 平均年齢及び平均給与月額は、単位未満の端数を切り捨てて表示しています。正社員には、出向社員も含まれています。

貸借対照表

アイティ豊岡都市開発株式会社

令和 4年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 191,243,135】	【流 動 負 債】	【 188,352,366】
現 金	2,848,069	短 期 借 入 金	60,800,400
預 金	168,285,906	未 払 金	125,700,982
売 掛 金	15,222,981	未 払 法 人 税 等	167,500
貯 蔵 品	1,517,250	前 受 金	1,644,264
立 替 金	23,729	預 り 金	10,820
未 収 入 金	3,345,200	預 り 住 民 税	28,400
【固 定 資 産】	【 1,949,294,626】	【固 定 負 債】	【 1,737,246,400】
(有 形 固 定 資 産)	(1,820,635,630)	長 期 借 入 金	1,137,246,400
建 物	835,789,184	受 入 保 証 金	600,000,000
建 物 附 属 設 備	14,087,499	負 債 合 計	1,925,598,766
構 築 物	479,501		
工 具 器 具 備 品	3,419,706		
土 地	966,859,740		
(無 形 固 定 資 産)	(111,696)		
電 話 加 入 権	111,696		
(投 資 そ の 他 の 資 産)	(128,547,300)		
出 資 金	10,000		
保 険 積 立 金	7,796,000		
修 繕 積 立 金	120,741,300		
【繰 延 資 産】	【 106,594】		
繰 延 資 産	106,594		
資 産 合 計	2,140,644,355	純 資 産 の 部	
		【株 主 資 本】	【 215,045,589】
		資 本 金	181,000,000
		(利 益 剰 余 金)	(34,045,589)
		そ の 他 利 益 剰 余 金	34,045,589
		繰 越 利 益 剰 余 金	34,045,589
		純 資 産 合 計	215,045,589
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	2,140,644,355

損益計算書

アイティ豊岡都市開発株式会社

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	金 額
【売 上 高】		
駐 車 場 売 上 高	121,333,561	
業 務 受 託 売 上 高	28,432,033	
手 数 料 売 上 高	301,586	
こども広場等売上高	4,715,353	154,782,533
売 上 総 利 益 金 額		154,782,533
【販売費及び一般管理費】		135,338,911
営 業 利 益 金 額		19,443,622
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息 配 当 金	400	
雑 収 入	424,847	425,247
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息		8,122,957
経 常 利 益 金 額		11,745,912
税引前当期純利益金額		11,745,912
法人税、住民税及び事業税		3,485,981
当 期 純 利 益 金 額		8,259,931

販売費及び一般管理費

アイティ豊岡都市開発株式会社

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
役 員 報 酬	3,600,000
給 与 手 当	9,057,715
賞 与	1,836,500
給 与 負 担 金	7,428,490
法 定 福 利 費	2,177,000
福 利 厚 生 費	420,869
旅 費 交 通 費	173,613
通 信 費	795,204
交 際 費	40,342
減 価 償 却 費	35,534,322
リ ー ス 料	308,400
保 險 料	1,308,830
修 繕 費	1,346,800
水 道 光 熱 費	2,812,867
事 務 用 品 費	941,208
消 耗 品 費	3,998,498
租 税 公 課	29,806,740
警 備 費	381,600
保 守 点 検 料	1,913,856
業 務 委 託 費	8,356,281
広 告 宣 伝 費	977,000
支 払 手 数 料	223,600
諸 会 費	8,273
地 代 家 賃	749,416
会 議 費	7,698
新 聞 図 書 費	37,778
共 益 費	21,085,091
雑 費	10,920
合 計	135,338,911

株主資本等変動計算書

アイティ豊岡都市開発株式会社

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

単位：円

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金			
当期首残高	181,000,000	25,785,658	25,785,658	206,785,658	206,785,658
当期変動額					
当期純利益		8,259,931	8,259,931	8,259,931	8,259,931
当期変動額合計	-	8,259,931	8,259,931	8,259,931	8,259,931
当期末残高	181,000,000	34,045,589	34,045,589	215,045,589	215,045,589

個別注記表

アイティ豊岡都市開発株式会社

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

◎棚卸方法 実地棚卸の方法によっています。

◎評価基準 最終仕入原価法による原価法に基づく低価法によって評価しています。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しています。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しています。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜処理を採用しています。

貸借対照表等に関する注記

減価償却累計額の金額

有形固定資産の減価償却累計額 1,077,504,031円

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

前期末株式数（発行済普通株式）	3,620株
当期増加株式数（発行済普通株式）	0株
当期減少株式数（発行済普通株式）	0株
当期末株式数（発行済普通株式）	3,620株

一株当たり情報に関する注記

一株当たりの情報

一株当たりの純資産額	59,404.85円
一株当たりの当期純利益	2,281.74円